

2019年3月

福祉

第63号

おんじゅく

御宿町社協



みんなで福笑い

1月のほっとサロンはお正月らしく「福笑い」みんなで楽しめるように大きな顔で、大笑い。目隠しをしていてもボランティアの優しいサポートで安心してゲームができます。腕を上げたり考えたり、自然と頭と体の体操ができます。

仲間を募集中

60歳以上の方を対象とした、ほっとサロンは月に1回、町地域福祉センターで開催しています。

お近くの集合場所まで送迎をしています。ご希望の方は町社会福祉協議会まで申し込んでください。

ひとびとの豊かさあふれる優しさの街 おんじゅく



地域生活を見守り支えるために

御宿の良さを生かして 地域の課題に取り組む

御宿町は、高齢化率五〇％を超える高齢者が多く住む町で、地域での生活課題も御宿の特色があります。

御宿でより生活しやすくするために、地域の皆さんで話し合い、個人個人が感じている御宿の良さや生活の課題を共有することが必要です。

その手法を、千葉県社会福祉協議会主催で十月三十一日に御宿町保健センターで開催された「地域福祉の担い手養成講座」で学びました。

この講座の中で、各グループで御宿の良いところ、困りごと、私たちにできることなどが話し合われた中で、今後取り組むべき地域の課題が見えてきました。

御宿で暮らす様々な人が 参加する地域福祉フォーラム

六十五歳以上が半数となった高齢者の町であったとしても、実際には子供から若者、現役労働者など様々な世代の方も生活しています。

また、御宿町へ移住されて新しい生活を始める方が多いことも特徴です。

これらの方が共に生活しやすい地域にするため、様々な方が様々な形で「地域での自分たちの生活」を話し合う場が必要となってきました。

町社協では、地域福祉フォーラムを実施して地域の生活を話し合い、これからの方針として御宿町地域福祉活動計画を策定する予定です。

必要とされた 集まる場所とつなげる人

グループでの話し合いでは、人のつながりに関する課題がありました。御宿の良さとしても人とのつながりがあげられており、人とのつながりをもっと発展させたいと思うとともに、いままで繋がりにくかった他の世代との交流の場が必要だとわかりました。

参加した方のアイデアにもあった、小地域で様々な人が集まれる場所の確保と、地域の人をつなげる世話役の確保もこれからの御宿町の地域福祉において取り組むべき課題です。

地域福祉活動の基盤 社協会費・共同募金

社会福祉協議会（社協）は、町民の皆様、町の法人・団体の皆様のご参加をいただきながら運営されている、会員組織による民間の団体です。

補助金や委託金などで福祉事業を実施していますが、地域で生活している皆さんが、生活しやすくするための活動を地域にあつた形であるべく早く実施するための財源には、地域の皆さんにご協力いただく「社協会費」と「共同募金配分金」が重要です。

社協会費の使われ方

三つの地区社協へ配分

ご協力いただいた社協会費の約四〇％は、御宿、岩和田、布施の三つの地区社会福祉協議会へ配分されます。

それぞれの地区社会福祉協議会では、地域内の状況に合わせて、老人クラブや子ども会、囃子保存会などの世代間交流活動などの費用にあてられる他、それぞれの地域のために使用されています。

町社協の事業費用として

町社協の事業である、「心配ごと相談所」や「紙おむつ配布事業」などの費用として使用されている他、暮らしやすい地域のために、御宿町ならではの生活スタイルを考えながら、住民の皆さんが安心して暮らせるように、日頃の生活で不便なことの把握や対応、災害に対しての備えや、災害時の福祉活動を検討し、地域の体制作りの費用として役立っています。

共同募金配分金の使われ方

赤い羽根共同募金配分金

赤い羽根共同募金は毎年十月一日から翌年三月末まで実施され、翌年に募金された地域に約六〇％配分されます。

御宿町では、高齢者、障害者、子供、ひとり親世帯などの福祉や地域での話し合い、ボランティア活動の充実などに使われます。

歳末たすけあい共同募金配分金

歳末たすけあい共同募金はご協力いただいた年の年末に、ひとり暮らし高齢者の年末大掃除や友愛訪問、各団体のクリスマス会などに使われます。

「私たちができること」が 繋がリアイデア実現

御宿町では、すでに地域活動がされている方、何かしようと思っただけまだ始めていない方、など様々な方が生活しています。「こんなことならできるのに」などアイデアを持っている方が少なくありません。

ひとりでは実現できないことも、同じようなアイデアを持った方が、できることを出し合い協力できれば、アイデアが実現できるかもしれません。

そのためには、地域で生活する様々な方が参加できる話し合いの場が必要です。

様々な世代の方、ずっと御宿に住んでいる方、移住された方、住んではいけないけど御宿のことを考えてくれる方など、誰もが参加できる話し合いの場が必要となります。

また、誰もが気軽に寄って話ができる地域の拠点に、地域の方々の「できること」をつなげる人がいれば、いろいろな「できること」をつなぐことができます。





地域の変化に合わせ 変化する地域福祉

御宿町は高齢化が進んでいる他にも福祉の課題が変化していきますし、生活している方の考え方も変化しています。

地域福祉の取り組みもこれらの変化に対応しなければなりません。

地域福祉活動計画と域福祉 フォーラム

定期的に取り組みを検討し変化に対応できるように「地域福祉活動計画」を作成しますが、それには地域の皆さんが、抱え



ている今の課題を知る必要があります。

また、多くの住民の皆さんが参加し、地域の今の課題解決のアイデアや担い手、活用できる社会資源などを共有し、住民の皆さんが、いつまでも安心して生活できる地域づくりを話し合うことができるのが、地域福祉フォーラムです。

この「地域福祉フォーラム」を活用し、御宿の今に対応できる「御宿町地域福祉活動計画」を策定し、住民の皆さんと一緒に活動できる地域福祉がこれからの御宿町社協の取り組むべき活動です。



平成三十年度 赤い羽根共同募金

本年度の赤い羽根共同募金は、十月から平成三十一年三月まで実施中です。
現在までに 九十四万九百八十円のご協力をいただいています。

引き続き募集中です

本年度から赤い羽根共同募金の募集期間が三月三十一日までとなり、現在も赤い羽根共同募金は募集中です。

戸別募金は終了しましたが、協力店などの募金箱、地域福祉センターでの受付などは引き続き行っています。

ご協力をお願いします。

平成30年度の歳末たすけあい運動

○ひとり暮らし高齢者への友愛訪問	278件
○寝たきりの方への友愛訪問	8件
○児童館でのクリスマス会	1件
○低所得世帯への歳末配分	66件
○ほっとサロンクリスマス会	1件（34名参加）
○障害者福祉会クリスマス会	1件（9名参加）
○歳末特別配食（さわやか配食にて）	37件
○ひとり暮らし又は高齢者のみの世帯への年末大掃除のお手伝い	22件
○在宅介護支援	10件

平成30年度

歳末たすけあい共同募金

本年度の歳末たすけあい募金は、12月に実施され663,957円の実績を持って終了しました。

ご協力ありがとうございました。

ご協力いただきました募金は、御宿町で歳末に実施された地域福祉事業等に使用させていただきました。



千葉県共同募金会
マスコットキャラクター
びわびよ

経験を生かした生きがい シルバー人材バンク

シルバー人材バンクとは高齢者のみなさんが、地域で生きがいを持って暮らせるように、身につけた技術や経験を使得って地域に貢献できる御宿町独自の事業です。

シルバー人材バンクの活動

現在のシルバー人材バンク登録者は、三十一人(男性二十五人、女性六人)です。

本年度(一月末まで)の作業件数は、四百八十四件で、定期的な依頼も増えてきています。

内容は草刈り、草取り、植木の手入れ、農作業、室内外清掃などが増えています。

会員募集中です

作業依頼が増えてくるにつれ、作業を開始するまで待っていた場合やご希望に添えない場合も出てきました。

ご依頼に添えるよう、作業をしていただける会員を募集中です。

シルバー人材バンクを 利用してみませんか？

専門の業者に依頼するほどでもないけど自分ではできない作業、忙しくてなかなか手を付けられない作業などシルバー人材バンクに依頼してみませんか？
会員のみなさんは、今まで培ってきた技術や経験を生かし丁寧に作業されています。

こんな作業は可能なのか等、お気軽にお問い合わせ下さい。
シルバー人材バンクに関するお問い合わせは、
(☎六八一六七二五まで)

社協会費募集中です

平成二十九年度にご協力いただいた町社協会費は、百十万二千七百五十円となりました。

ご協力ありがとうございます。

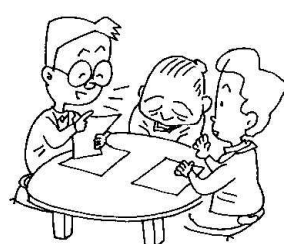
現在、平成三十年度の会費を募集中です。

社協会費の種類

一般会費 (六百円)
賛助会費 (三千円)
法人会費 (五千円)

地域安心して暮らすために 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業とは、日常生活を送るうえで、十分な判断ができない方や、身体の自由がきかない方が地域で安心して生活できるように支援計画に基づいて生活支援員が定期的に訪問し必要に応じた福祉サービス利用援助や預貯金の出し入れ、支払代行をする福祉サービスです。



福祉サービス利用援助

福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いをします。

△例えば▽

- 福祉サービスについての情報提供を受けられます。
- 福祉サービスを利用したり、やめるために必要なことを一緒に考えながら手続きをします。

財産管理サービス

毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

△例えば▽

- 医療費、税金、公共料金等を支払うお手伝いをします。
- あなたの通帳から生活に必要なお金を払い出してお渡しします。

また、預け入れすることもできます。

財産保全サービス

大切な書類や印鑑などをお預かりします。

△お預かりできるもの▽

- 年金証書、預貯金通帳、不動産権利証書、契約書類
- 実印、銀行印
- その他社会福祉協議会が適当と認めた書類

※財産保全サービスのみのご利用はできません。

また、宝石、骨董品、貴金属類、株券、有価証券などはお預かりできません。

お問い合わせは、町社協(☎六八一六七二五まで)

平成 29 年度の社協活動状況

御宿町社会福祉協議会は、地域に根付いた福祉活動のため、御宿町の特色を生かした事業実施など柔軟に対応し、社協らしくより効果的な運営を目指しています。

資金収支決算（法人全体）

事業活動による収支

収 入	40,440,239円
会費収入	1,102,750円
寄付金収入	20,797円
経常経費補助金収入	29,331,939円
受託金収入	2,678,400円
貸付事業収入	140,000円
事業収入	42,000円
介護保険事業収入	7,098,536円
受取利息配当収入	192円
その他の収入	25,625円

支 出	41,894,067円
人件費支出	32,273,720円
事業費支出	5,289,009円
事務費支出	3,289,838円
貸付事業支出	170,000円
助成金支出	773,100円
負担金支出	98,400円

事業活動収支差額 △1,453,828円

施設整備等による収支

収 入	0円
支 出	0円
施設整備等収支差額	0円

その他の活動による収支

収 入	0円
支 出	1,953,600円
積立資産支出	354,000円
その他の支出	1,599,600円
その他の活動収支差額	△1,953,600円
当期資金収支差額	△3,407,428円

事業の実施状況

心配ごと相談所	月 2 回
ふれあい会食会	年 3 回
さわやか配食	年 10 回
男の料理教室	年 9 回
ほっとサロン	月 1 回
地域福祉センター	延べ3,430人
介護予防訪問	延べ600人
シルバー人材バンク	605件
介護保険事業	
居宅介護支援	延べ526人

事業の利用状況

ふれあい会食会	延べ 83人
さわやか配食	延べ363人
男の料理教室	延べ105人
ほっとサロン	延べ298人

ボランティア活動状況

さわやか配食	延べ134人
ほっとサロン	延べ304人
その他	延べ1,830人

貸付事業の実施状況

福祉資金	
（国保高額療養費の9割貸付）	
・貸付 0件	0円
・償還 0件	0円
善意銀行	
（最高60,000円までの小口貸付）	
・貸付 5件	170,000円
・償還 4件	140,000円

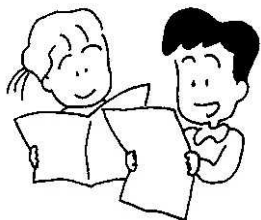
生活福祉資金貸付制度

町社会福祉協議会では、低所得者や高齢者、障害者を対象とした資金の貸し付けとともに、必要な援助指導を行うことにより安定した生活を送ることを目的とした、県社会福祉協議会の貸付制度「生活福祉資金」の窓口業務を行っています。

○貸付の種類

- ・総合支援資金 ・福祉資金
- ・不動産担保型生活資金
- ・教育資金 など

貸付に関するご相談は
地区民生委員又は
町社会福祉協議会
☎ 68-6725 まで

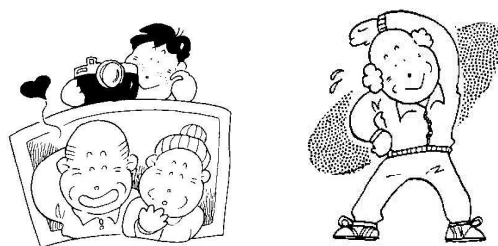


老人クラブ会員募集

会員や町内の高齢者の福祉のために活動している老人クラブですが、御宿町内には10の単位老人クラブが様々な活動をするとともに、町老人クラブ連合会主催の事業に参加しています。

老人クラブの主な行事

- 高齢者スポーツ大会
- 老人クラブ県外研修
- 高齢者囲碁将棋大会
- 高齢者ふれあい学級
- 環境美化活動 など



入会のお申し込みは
各区の単位老人クラブへ
お問い合わせは
町老人クラブ連合会事務局
☎ 68-6725 まで

障害者福祉会会員募集

町内の身体障害者手帳をお持ちの方、町身体障害者福祉会に入会しませんか？

障害者福祉会は会員の福祉を目的に次のような活動をしています。

- 会員の健康増進を目的とした軽スポーツ
- 会員及び町内障害者のための視察研修会等

お問い合わせ及び入会申し込みは
町身体障害者福祉会事務局
☎ 68-6725 まで

お知らせ



風のたより

平成三十一年がスタートしました。

今年には平成から新しい元号へ変わる年で、十二支最後のいのしし年でもあります。

社会福祉協議会でも、変化の年ととらえ、今までの活動を見直し、地域に合った取り組みを考えたいと思います。

発行

公益財団法人御宿町社会福祉協議会

☎ 六八―六七二五

発行責任者 井上宙丈

寄贈

善意をありがとうございます

立正佼正会茂原教会様

金五万円

公益財団法人茂原法人会様

金十万円

心配ごと相談所

町社会福祉協議会では心配ごと相談所を開設しています。

毎月2日、22日
(変更の場合有り)
9:00~12:00

お問い合わせは
☎ 68-6725 まで

福祉ダイジェスト



大多喜城を見学

ふれあい会食会

七十歳以上のひとり暮らしの方を対象に実施している、ふれあい会食会。

本年度第三回目の開催となる二月二十八日には、大多喜城を見学。

その後、大多喜老人福祉センターで会食しました。

お弁当は石川栄養士の指導で、町食生活改善会の皆さんの手作りです。



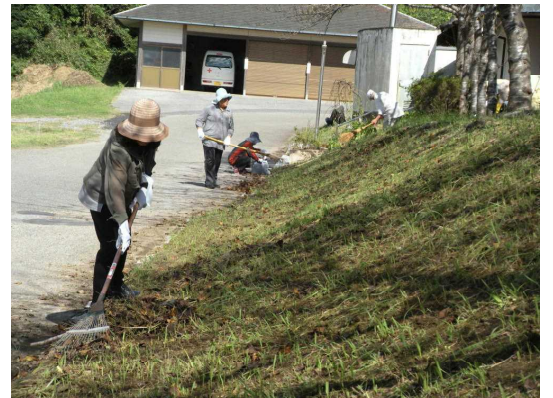
ウォーキング実習

男の料理教室

年九回実施の男の料理教室は、町保健センターで「保健」や「栄養」とともに「調理実習」をしています。年一回体力づくりを実習で学びます。

今回は十一月二十八日に亀山湖でウォーキング実習を実施しました。

昼食は受講生が自分で握ったおにぎりを味わいました。



社会奉仕の日

老人クラブ連合会

全国一斉に実施される「老人クラブ社会奉仕の日」ですが、御宿町では九月二十八日に会員の皆さんが地域福祉センター周辺の清掃活動を行いました。

このほかにも単位老人クラブでは地域の花壇に花植えや、会員同士の見守りなどのボランティア活動を実施しています。



一日赤十字を開催

赤十字奉仕団

赤十字活動を体験することでより身近に感じていただくことを目的とした、町赤十字奉仕団が毎年開催している「一日赤十字」ですが、今年は二月十五日に地域福祉センターで開催されました。当日はハイゼックス袋での炊飯や非常食の調理、避難所で使える道具体験などを実施しました。